



初めての通常国会

自民党女性局次長・厚生関係団体委員会副委員長
参議院議員・薬剤師 本田顕子

7月初旬の熊本県南部における大雨洪水被害は、九州地方から本州にまで拡大し、各地で甚大な被害が発生しました。被害に遭われた薬局も多く、心よりお見舞い申し上げます。

さて、2020年1月20日に開会した通常国会は6月17日に150日間の会期をもって閉会しました。

しかし、開会から間もない2月3日に横浜港に到着した豪華クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」において、乗客の一部に新型コロナウイルス感染者が確認されてから事態は急変し、国会の審議も新型コロナウイルス対策を中心とした内容になりました。

国会においては新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正を行い、これを受けて政府は緊急事態宣言を発令しました。また、東京オリンピック・パラリンピックの延期、国民への外出自粛要請、他県への移動自粛等、国民生活は大きく変化し、新しい生活様式への転換を考える機会になったのかもしれませんが。そして、本年度予算が実施されて一か月後の4月30日に、新型コロナ対策のための補正予算の審議と成立、更に6月12日には更なる支援対策を盛り込んだ第二次補正予算が成立しました。まさに本国会は新型コロナ国会といった印象を受けたものでした。

一方、私の国会での活動としては5月19日の厚生労働委員会において、年金制度改革のための国民年金法等の改正法案の審議に当たって、議員として2度目の質問に立つことができました。

感染症の拡大以降、関係する職域の皆様方から多くの切実な声をいただいています。その声に応えていくために、新人議員ということに臆することなく根気強く発言していかなければならないと改めて気を引き締めたところです。



本田あきこ



メルマガ登録



本田あきこの部屋



@89314honda